

みどりの風吹くへ

健康アプリ「ねりまちてくてくサプリ」の ダウンロード数が5,000件を突破！

～「練馬区健康日誌」の配布も開始～

ねりまちてくてく

昨年11月にスタートした、練馬区オリジナルの健康アプリ「ねりまちてくてくサプリ」のダウンロード数が、5,000件を突破した。

登録ユーザーの男女比は、ほぼ1:1で女性が若干多く、年代では50代が一番多く、40代、60代と続く。本事業のターゲットとしている20～50歳代が約75%を占める。

同アプリは、自分のペースで健康づくりを楽しめる様々な機能を搭載。ユーザーに最も人気があるメニューは、毎日の歩数をランキングする「歩数ランキング機能」。普段の歩数を距離に換算して、実際の道路を歩かなくてもコースを踏破することができる「バーチャルてくてくコース」(東海道五十三次コースや箱根駅伝コースなど)も人気メニューの一つ。

また、練馬こぶしハーフマラソン2018(25日開催)にあわせて、応援キャンペーンを実施する。設定した健康条件をクリアした人を対象に、会場で健康グッズをプレゼントする。(先着300名)

このほか、毎日の健康記録など、アプリメニューと一部共通化した「練馬区健康日誌」の配布を開始。様々な健康情報を掲載し、スマートフォンがない人でも、気軽に健康づくりに取り組める。27,400部を発行。保健相談所など区内41か所で手に入る。



ねりまちてくてくサプリの画面



健康日誌の表紙と内容の一部

【健康アプリ「ねりまちてくてくサプリ」】

平成29年11月1日から運用開始。20～50歳代をターゲットとした健康づくりを支援するスマートフォン用アプリとして提供。「楽しく自分のペースで健康づくりを」をコンセプトに、区の健康づくりに関連する情報を届ける「お知らせ機能」、血圧や体重などの毎日の健康や健康診査の結果などが入力できる「記録機能」など、健康に関する様々な機能を搭載している。

Googleplay、Appstoreから無料でダウンロードできる。

【「練馬区健康日誌」について】

練馬区で配布している「健康日誌」。A5サイズで81ページ(目次・表紙含まず)。

毎日の健康について記録できるほか、健康的な生活の仕方や各課事業などを掲載している。